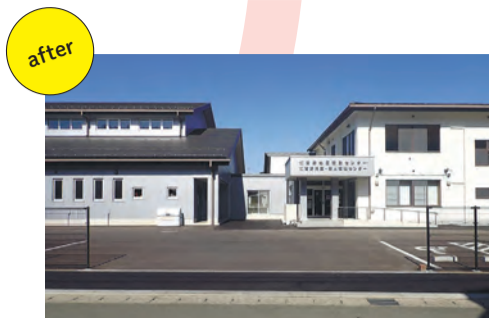


量の最適化

人口減少が急速に進行する中、人口規模に合わせて施設保有量を縮減し、量の最適化を図ることで、将来に大きな財政負担を残さないかたちで施設を維持更新していきます。



1 加賀野地区活動センター
2 加賀野老人福祉センター・児童センター



地域住民の発案で、隣接していた1と2を複合化し、1はコンパクトに建て替え。部屋を使い合うなど利便性が向上しました。

複合化

サービスの最適化

時代とともに施設の使われ方も変わってきています。利用者の声を聞きながら、ニーズの変化に対応した住民サービスを提供します。



フローリングにすることで、椅子を使った集まりができるようになり、足腰にも優しい部屋に生まれ変わりました。

みんなで考えよう！ 公共施設の将来像

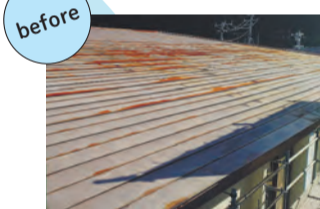
アセットマネジメント始まっています

皆さんはどんな公共施設なら使いやすいですか？
市は皆さんの財産である公共施設を大切に長く維持していく取り組みであるアセットマネジメントを進めています。身近な公共施設の将来について一緒に考えましょう。

【問】資産経営課
☎603-8007

長寿命化

施設に損傷が発生した後に修繕を行う「事後保全型」から、計画的に修繕や改修などを行う「予防保全型」へと転換し、安全に長く使えるよう建物を整備します。



さびついた屋根をそのままにすると、雨漏りの原因になるので、予防保全として塗装をしました。



利用者の声
加賀野TTC(Table Tennis Club)
すえじ
● 細矢 末治さん ●

加賀野地区活動センターの体育館を利用して卓球をしています。以前は、暗くて掃除なども大変だったのですが、全体的に明るくなり、ボールや人の動きなども見えやすくなりました。

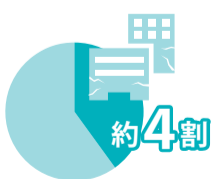
説明会に参加しよう

公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の次期計画の策定に向け、説明会を開催する予定です。お住まいの地域で説明会を開催する時はぜひ参加してください。

こんな問題を解決していくよ！

POINT 01 公共施設が古くなっています

市は、高度経済成長期から現在まで多くの施設を建設してきました。このうち築40年を越える施設が、全体の約4割を占め、多くの施設の建て替えや改修が必要となっています。



POINT 02 少子高齢化でニーズが変化しています

平成27年～令和17年の間に市では14歳以下の年少人口が3割、15～64歳の生産年齢人口は2割、総人口は1割の減少となる見込み。施設が余剰となる一方、新たなニーズへの対応も必要です。



POINT 03 建て替え・改修に多額の費用が見込まれます

公共施設の全てを保有した場合の維持更新費用は、向こう40年間で総額4345億円（年平均108億円）を越え、これまでの費用（年平均49億円）の2倍以上が必要になります。



今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記
まちの変化に期待が高まります！ 暑いので水分補給もしつつ、変わったものと変わらないものを探しに歩き回ってみたいと思います。(司東)

地球環境に配慮したインキを使用しています。